

# iReport 実践ガイド Version 1.0

**お待たせしました、世界No.1のJavaレポートジェネレーターの実践ガイド 日本語版販売開始！**



世界中で最も使用されているオープンソースの Java レポーティング ライブラリーである JasperReports のオーサリングツールである iReport。この iReport のすべてを、iReportの開発者が実践的な見地から、余すところなく使用法を解説した画期的なマニュアル。執筆は、iReport プロジェクトファウンダー兼アーキテクトのGiulio Toffoli。ベースとなる JasperReports の基本コンセプトから、レポート構造、レポートエレメント、フィールド・変数・パラメーターのハンドリング方法、フォント、サブレポート、データソース、Flash チャート、リスト、テーブル、バーコード、サブデータセット、クロス集計テーブルに至るまで詳細に解説。ソースコードの紹介も豊富になされています。レポーティングを新たな開発分野と見定める Java エンジニア必見の充実した内容が満載です。ビジネス・インテリジェンスとしての分析レポートから日本の帳票スタイルのレポートまでをカバー、必見です。

## ・ 基本的なレポート開発から Flash チャートまで幅広く解説

iReportUltimate ガイド	
<b>目次</b>	
<b>第1章 はじめに</b> ..... 8	
1.1 iReport の機能..... 8	
1.2 iReport コミュニティ..... 8	
1.3 JasperReports 商用ライセンス..... 8	
1.4 本書で使用するコード..... 8	
<b>第2章 スタートガイド</b> ..... 8	
2.1 プラットフォームの要件..... 8	
2.2 ダウンロード..... 8	
2.3 開発バージョン..... 8	
2.4 iReport のインストール..... 8	
2.5 iReport のインストール..... 8	
2.6 Windows インストーラー..... 8	
2.7 Mac OSX への iReport インストール..... 8	
2.8 最初の iReport 実行..... 8	
2.9 JDBC 接続の作成..... 8	
2.10 最初のレポート作成..... 8	
2.10.1 サンプルデータベースの使用..... 8	
2.10.2 レポートウィザードの使用..... 8	
<b>第3章 JasperReports の基本概念</b> ..... 8	
3.1 レポートのライフサイクル..... 8	
3.2 JRMML ソースと JASPER ファイル..... 8	
3.3 テーマソースと印刷形式..... 8	
3.4 バージョン間の互換性..... 8	
3.5 式..... 8	
3.5.1 式の型..... 8	
3.5.2 式演算子とオブジェクトメソッド..... 8	
3.5.3 式における IF-Else 構成の使用..... 8	
3.6 式記述言語としての Java の使用..... 8	
3.7 式記述言語としての Groovy の使用..... 8	
3.8 式記述言語としての JavaScript の使用..... 8	
3.9 iReport における JasperReports 拡張機能の使用..... 8	

iReportUltimate ガイド	
3.10 簡単なプログラム..... 8	
<b>第4章 レポートの構造</b> ..... 8	
4.1 パラド..... 8	
4.1.1 レポートのプロパティ..... 8	
4.1.2 列..... 8	
4.1.3 高度なレポートオプション..... 8	
4.2 パラドの扱い..... 8	
4.2.1 パラドの高さ..... 8	
4.2.2 出力決定式..... 8	
4.2.3 分割許可と分割種類..... 8	
4.3 まとめ..... 8	
<b>第5章 レポートエレメント</b> ..... 8	
5.1 エレメントの扱い..... 8	
5.1.1 フォーマットツール..... 8	
5.1.2 Report Inspector によるエレメント管理..... 8	
5.1.3 エレメントの基本属性..... 8	
5.1.4 エレメントのカスタムプロパティ..... 8	
5.1.5 グラフィックエレメント..... 8	
5.2 イメージの扱い..... 8	
5.2.1 パラドと外枠..... 8	
5.2.3 イメージの動的作成..... 8	
5.3 テキストの扱い..... 8	
5.3.1 静的テキスト..... 8	
5.3.2 テキストフィールド..... 8	
5.4 その他のエレメント..... 8	
5.4.1 サブレポート..... 8	
5.4.2 フレーム..... 8	
5.4.3 チャート..... 8	
5.4.4 クロス集計テーブル..... 8	
5.4.5 ページおよび列の区切り..... 8	
5.5 カスタムエポケーターと汎用エレメントの追加..... 8	
5.6 アンカー..... 8	
5.6.1 ハイパーリンクの種類..... 8	
5.6.2 ハイパーリンクのパラメーター..... 8	
5.6.3 ハイパーリンクのツールヒント..... 8	
<b>第6章 フィールド、パラメーターおよび変数</b> ..... 8	
6.1 フィールドの扱い..... 8	
6.1.1 SQLクエリーからのフィールド登録..... 8	
6.1.2 SQLクエリーデザイナーへのアクセス..... 8	

## ・ 解りやすい画面での説明

Figure 5-6 Element not correctly positioned

説明ツールを使ってエレメントを矩形で囲むことで複数のエレメントを同時選択することができます。

選択対象のエレメントが選択範囲に完全に含まれていなければならないか、一部でも構わないかは、矩形の作成方向によって異なります。

Figure 5-7 Selection left to right

Figure 5-8 Only elements fully contained in the selected area are selected

75

## ・ 豊富なサンプルコード

iReport Ultimate ガイド

JavaScript は見えるのが簡単で Web 上にマニュアルやリファレンスが数多くあるので、プログラミング言語のことを何も知らない人にとっては嬉しい書籍です。また、実行時には 1 ステップずつ解説されるのではなく、Java のバイトコードが生成されるというの大きな特徴です。従って、Java と遜色のないパフォーマンスを得ることができるのです。

### 3.9 iReport における JasperReports 拡張機能の使用

JasperReports はいくつかの形で機能を拡張することができます。コンポーネント、フォント、クエリーオブジェクト、チャートテーマなどの 拡張機能は通常 JAR にパッケージされています。iReport でこの拡張機能を使うには、必要な JAR を iReport のクラスパスに追加しなければなりません。iReport のクラスパスは静的および再ロード可能な 2 種類に分かれています。静的拡張機能は静的に設定します。一方、国産のディスクリプターや特別な再ロードメカニズムが必要なオブジェクト (スクリプトレットやカスタムデータソースなど) は再ロード可能/拡張可能です。

### 3.10 簡単なプログラム

Jasper ファイルから PDF ファイルを作成する簡単なプログラムを動かして、JasperReports の説明を読むことにしましょう。このプログラムで使用する JRSimpleDataSource というデータソースは、フィールドのないレコードを生成するためのユーティリティデータソースです。コードサンプルで参照されている test.jasper は、コードサンプル 3-11 で示したコードをコンパイルしたものです。

コードサンプル 3-11 JasperTest.java

```

import net.sf.jasperreports.engine.*;
import net.sf.jasperreports.engine.export.*;
import java.util.*;

public class JasperTest
{
    public static void main(String[] args)
    {
        String fileName = "/dev1/examples/test.jasper";
        String outFileName = "/dev1/examples/test.pdf";
        HashMap hm = new HashMap();

        try
        {
            JasperPrint print = JasperFillManager.fillReport(
                fileName,
                hm,
                new JRSimpleDataSource());

            JRExporter exporter =
                new net.sf.jasperreports.engine.export.JRPdfExporter();

            exporter.setParameter(
                JRExporterParameter.OUTPUT_FILE_NAME,
                outFileName);
            exporter.setParameter(
                JRExporterParameter.JASPER_PRINT, print);
        }
        catch (JRException e)
        {
            e.printStackTrace();
        }
    }
}

```

48

体裁： B5版 389ページ 本文モノクロ

価格： 5,350円(税・送料込み)

購入方法： 下記口座に代金入金後、[documents@workbrainjapan.com](mailto:documents@workbrainjapan.com) 宛てに  
商品送付先情報(住所、電話番号)をご連絡ください。

振込口座： 銀行名： 三菱東京UFJ銀行  
支店名： 本厚木支店(店番号:265)  
口座番号： 普通 0046489  
名義人： ワークブレイン・ジャパン株式会社

### Jaspersoft についてのお問い合わせは

本カタログについて、もしくは Jaspersoft に関するお問い合わせは、以下の連絡先にお問い合わせください。

#### Jaspersoft Headquarters

539 Bryant Street, Suite 100  
San Francisco, California 94107, USA  
Phone: 888.399.2199 or 415.348.2380  
Web: [www.jaspersoft.com](http://www.jaspersoft.com)

#### Jaspersoft Japan:

ワークブレイン・ジャパン株式会社  
〒135-0063 東京都江東区有明3丁目7番26号  
有明フロンティアビルB棟9階  
TEL: 03-5530-8316  
FAX: 03-5530-8317  
Email: [documents@workbrainjapan.com](mailto:documents@workbrainjapan.com)  
Web: <http://www.jaspersoft.com/jp>

#### 販売代理店